

平成29年度 事業別予算概要

事業名	91100	教育委員会運営費	予 算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業		
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	項	1	教育総務費	施策の概要	4	学びのセーフティネットの構築	H29実施計画額	千円	
			2342	目	1	教育委員会運営費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・教育行政全般の推進 ・教育委員会活動・教育振興基本計画の推進	概要	事業の実施手法(手段)	・教育委員会の運営
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・教育委員会の開催 定例会12回、臨時会5回 ・教育委員会規則等の議決 31件								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
				達成率(%)		-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
				達成率(%)		-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
			達成率(%)		-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況		
次年度の担当課の考え方	<input type="radio"/> 維持・改善	・適正な運営に努める。
	<input type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,617	3,812	4,436	4,471
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	39	42	49	50
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	教育委員の活動及び委員会の運営	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,436	4,471	35	4,436	4,436	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	4,436	4,471	35	4,436	4,436		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	91220	高等教育等支援事業費	予算	会計	1 一般会計	基本分野	3 教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9 教育費	個別分野	1 学校教育	実施計画事業	高等教育等支援事業	
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	項	1 教育総務費	施策の概要	4 学びのセーフティネットの構築	H29実施計画額	5,000 千円	
			2342	目	2 事務局費					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高等教育機関に通う生徒	どうしたいのか(意図)	・私立学校(高等教育機関等)における教育の振興と保護者の教育費負担の軽減を図る ・教育の機会均等の見地から、勤労学生の向学心を支え、定時制及び通信制課程における高等学校教育の充実を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・市内の私立高等学校に対して、教育費助成として補助金を交付する ・市内の私立高等教育機関に対して、学生募集経費に対する助成として補助金を交付する ・市内の定時制、通信制の高等学校に対し、教育内容の充実のための補助金を、年額250千円の範囲内で交付する
	対象者数	1,156 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	【私立学校教育補助金】 ・高山短期大学 5,000,000円(生徒の募集等に係る経費) ・高山西高等学校 1,558,000円(市内 564人、市外 148人) 【通信制教育補助金】 250,000円(81人) 【定時制教育補助金】 250,000円(66人)								
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
				実績値					
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)					
		私立学校生徒数	人	目標値	980	1,030	1,030	1,030	1,030
				実績値	1,009	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	103	-	-	-	-
		定時制・通信制生徒数	人	目標値	147	155	155	155	155
				実績値	147	-	-	-	-
算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-		
		目標値							
		実績値							
算出根拠等		達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・経営の安定化に十分な効果を及ぼすため、制度の在り方を再検討する。
-----------------	-----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・事業の効果について検証を行い、それに基づいて翌年度以降の方針を決定する。	
次年度の担当課の考え	○ 維持・改善	・事業の効果の検証と、翌年度以降の見直しを行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,971	7,058	7,100	7,135
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,332	6,106	6,142	6,172
	受益者	高等教育機関に通う生徒	(B)	1,101	1,156	1,156

5 予算編成(Action2)

事業内容	市内高等教育機関及び高等学校等に対する教育助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,100	7,135	35	3,000	3,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	7,100	7,135	35	3,000	3,000		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	91230	幼児教育支援事業費	予算	会計	1 一般会計	基本分野	3 教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9 教育費	個別分野	1 学校教育	実施計画事業	幼児教育支援事業	
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	項	1 教育総務費	施策の概要	4 学びのセーフティネットの構築	H29実施計画額	68,300 千円	
			2347	目	2 事務局費					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立幼稚園(高山短期大付属幼稚園・美鳩幼稚園・高山幼稚園)	どうしたいのか(意図)	・幼児教育を受けやすい環境を整えることにより、教育の機会均等を図る。 ・少子化により私立幼稚園の経営困難が続く中、幼稚園の運営を安定化させ、幼児教育環境を維持する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市内にある私立幼稚園3園に対し、通園児1人あたり年額3,000円の運営助成を行い、教育環境の整備を行う。 ・園児の保護者に対して保育料・入園料の助成を行っている私立幼稚園に対して助成金を交付し、保護者負担の軽減を図る。
	対象者数	517 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	【私立幼稚園就園奨励費補助金】		【私立幼稚園運営費補助金】							
	高山短期大付属幼稚園	24,402,100円(183人)	585,000円(195人)	H27	H28	H29	H30	H31		
	美鳩幼稚園	24,219,280円(175人)	564,000円(188人)							
	高山幼稚園	17,154,400円(128人)	402,000円(134人)							
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)					
					目標値					
					実績値					
				達成率(%)						
	成果指標	就園奨励費補助対象園児数	人	目標値	490	485	485	485	485	
				実績値	486	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)	99	-	-	-	-	
		市内在住園児数	人	目標値	550	550	550	550	550	
				実績値	517	-	-	-	-	
算出根拠等			達成率(%)	94	-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・保育料の保護者負担軽減や幼児教育環境の維持。
-----------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・引き続き事業を継続するとともに、新たな子育て支援制度についても対応を進める。	
次年度の担当課の考え	○ 維持・改善	・引き続き事業を継続するとともに、新たな子育て支援制度についても対応を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	68,819	67,327	70,650	113,650
受益者1件当たり(円)	(A/B)	126,972	130,226	136,654	206,636	
受益者	私立幼稚園園児	(B)	542	517	517	550

5 予算編成(Action2)

事業内容	・国の基準に基づく就園奨励費の助成 ・私立幼稚園に対する運営費の助成 ・特定教育・保育施設(子ども子育て支援新制度に移行した私立幼稚園)に対する負担	要求のポイント	・低所得世帯の幼稚園児等に対する保育料の助成(保育園と同様の保育料軽減) ・子ども子育て新制度への対応	事業実施の課題
------	--	---------	--	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	70,650	113,650	43,000	113,000	113,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	22,000	26,333	4,333	29,300	29,300		
県支出金		20,500	20,500	20,550	20,550		
その他			0				
一般財源	48,650	66,817	18,167	63,150	63,150		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	91260	教員住宅管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業	教員住宅管理事業	
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	項	1	教育総務費	施策の概要	4	学びのサーフェティネット構築	H29実施計画額	700 千円	
			2342	目	2	事務局費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内対象小中学校教職員(荘川地区・上宝地区)	どうしたいのか(意図)	郊外の小中学校に在勤する教職員に対し、赴任地で安価で快適な住居を提供し、教職員の良好な生活環境を保全	概要	事業の実施手法(手段)	入居/退去希望者の入退去手続き、家賃収納事務、住宅の損傷に対する迅速な修繕を実施する。
	対象者数	79 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> 本郷学校教職員住宅の屋根防水改修工事の実施 本郷学校教職員住宅排水升修繕の実施 諸修繕の実施と適切な維持管理により、快適な住環境を提供 							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		維持管理する住宅戸数	戸	目標値	23	23	23	23	23
				実績値	23	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値						
	算出根拠等		達成率(%)	110	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値						
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値						
	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な住宅ニーズの把握 住宅の計画的な修繕
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 廃止施設の処分、処分未決定施設の方針決定。 	
次年度の担当課の考え方	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理、計画的な修繕により、安心安全な住環境を提供する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 568	5,501	3,200	20,830
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 7	67,914	40,506	263,671
	受益者	対象小中学校教職員 (B) 81	81	79	79

5 予算編成(Action2)

事業内容	学校教職員住宅の維持管理・運営	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,200	20,830	17,630	650	650	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	2,000		△ 2,000				
	その他	1,200	1,994	794	650	650		
	一般財源		18,836	18,836				

平成29年度 事業別予算概要

事業名	91270	教育委員会事務局運営事業費	予算 内線 2342	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費		個別分野	1	学校教育	実施計画事業	教育委員会事務局運営事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課			項	1	教育総務費		施策の概要	4	学びのセーフティネットの構築	H29実施計画額	18,800 千円	
				目	2	事務局費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内小中学校児童生徒	どうしたいのか (意図)	・教育行政全般の運営に係る事業の推進	概要	事業の実施 手法(手段)	・教育行政全般の運営に係る事業の継続及び推進
	対象者数	7,531 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・高山市教育委員会点検評価委員会議の開催							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)		-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
		算出根拠等	達成率(%)		-	-	-	-	
	成果指標			目標値					
				実績値		-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)		-	-	-	-
				目標値					
				実績値		-	-	-	-
算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H28対応状況		
次年度の担当 課の考え方	<input type="radio"/> 維持・改善	・適正に事務事業を推進する
	<input type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,569	2,082	5,972	3,876
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	325	269	793	529
	受益者	小中学校児童生徒	(B)	7,910	7,744	7,531

5 予算編成(Action2)

事業内容	教育行政全般の運営にかかる事業の推進 小・中学校通学審議会、高山市教育委員会点検評価委員会、高山市教育振興会議の開催	要求のポイント	事業実施の課題
------	---	---------	---------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,972	3,876	△ 2,096	3,570	3,570	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,000		△ 1,000	1,550	1,550		
	一般財源	4,972	3,876	△ 1,096	2,020	2,020		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	91300	スクールバス管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業	スクールバス管理事業	
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	項	1	教育総務費	施策の概要	4	学びのセーフティネット構築	H29実施計画額	53,800 千円	
			2348	目	3	スクールバス管理費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	遠距離通学児童・生徒 市民	どうしたいのか(意図)	・計画的な車両管理により遠距離通学の児童、生徒の安全で安心な通学手段の確保を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・経年及び長距離の走行により老朽化したスクールバスの更新
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・スクールバス更新 2台 (上宝地区 平湯線、丹生川地区 新張線)								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		スクールバス更新台数		台	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-
		遠距離通学児童・生徒数		人	目標値	1,081	1,059	-	-	-
					実績値	1,081	-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
	算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
算出根拠等			達成率(%)		-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・計画的なバスの更新を継続する。
-----------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・更新計画にあわせて、車両を更新する。	
次年度の担当の考え方	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	
	<input type="radio"/> 拡大	・遠距離通学児童・生徒の安全安心なスクールバスの運行を確保する。
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	52,233	47,435	68,903	61,128
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	570	522	765	679
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	スクールバスの運行、維持管理、更新	要求のポイント	更新計画に基づく車両更新	事業実施の課題	計画的な修繕・整備の実施
------	-------------------	---------	--------------	---------	--------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		68,903	61,128	△ 7,775	54,903	54,903	・運行経費と維持管理経費は積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	7,540	7,540	0	7,540	7,540		
	県支出金			0				
	その他	18,000		△ 18,000	14,000	14,000		
	一般財源	43,363	53,588	10,225	33,363	33,363		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	92100	小学校管理事業費	予算	会計 1 一般会計	基本分野 3 教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約 多彩な教育環境が整ったまちづくり 高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
			内線	款 9 教育費	個別分野 1 学校教育	実施計画事業	小中学校管理事業	
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	2347	項 2 小学校費	施策の概要	H29実施計画額	197,300 千円	
				目 1 学校管理費				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内小学校児童	どうしたいのか(意図)	・学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する。 ・児童の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備	概要	事業の実施手法(手段)	・小学校の運営及び学校設備の維持・管理 ・内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施 ・学校設備、施設等の管理点検及び学校内外の防犯・防災点検を行う ・学校の各種施設や設備の破損箇所の修繕及び学校備品や教材の製作等を行う
	対象者数	4,803 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	活動指標	H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の修繕、改修、備品等の購入 ・嘱託医による健康診断を実施 ・感染症、疾病予防に関する嘱託医からの指導助言を随時受けながら学校の衛生管理を実施 ・学校用務職員による学校施設等の修繕 					
		指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		学校数	校	目標値 実績値	19 19	19 -	19 -	19 -	19 -
	算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-	
	活動指標	配置医師等数(内科、歯科、薬剤師)	人	目標値 実績値	95 95	95 -	95 -	95 -	95 -
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		用務職員配置数	人	目標値 実績値	25 25	25 -	25 -	25 -	25 -
	算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-	
	成果指標	児童数	人	目標値 実績値	4,909 4,909	4,803 -	4,800 -	4,800 -	4,800 -
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
				目標値 実績値	- -	- -	- -	- -	- -
	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・引き続き学校維持管理の経費の削減に向けた取り組みを進める。 ・修繕等を専門業者に安易に依頼せず、学校用務職員自らが施工するなど、学校施設の維持管理費の削減が図れている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・省エネ、水道光熱費の削減に向けた取り組みを進める。 ・児童が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、引き続き事業を進める。	
課の考えの担当	○ 維持・改善	・学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保できるように管理事業を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	191,161	206,631	202,128	295,778
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	38,103	42,092	42,084	62,060
	受益者	児童	(B)	5,017	4,909	4,803	4,766

5 予算編成(Action2)

事業内容	小学校の運営及び学校の維持・管理 児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理 学校施設の維持修繕 ほか	要求のポイント	児童の木製机・椅子購入、学校施設の修繕 学校用務職員の営繕作業によるコストの削減	事業実施の課題	老朽化した施設を計画的に修繕する必要がある。
------	--	---------	---	---------	------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方		市長査定の考え方	
歳出(千円)		202,128	295,778	93,650	205,544	205,544	・積算内容を精査 ・施設整備は優先順位の高い箇所を実施		・財務部査定のとおり	
財源内訳	国庫支出金			0						
	県支出金	1,200	1,800	600	1,200	1,200				
	その他	800	1,320	520	800	800				
	一般財源	200,128	292,658	92,530	203,544	203,544				

平成29年度 事業別予算概要

事業名	92310	小学校大規模改修事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	多彩な教育環境が整ったまちづくり 高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
			内線	款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業	小中学校整備事業		
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	2347	項	2	小学校費	施策の概要	4	学びのセーフティネット構築	H29実施計画額	275,000 千円		
				目	3	学校整備費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童、教職員及び一般市民	どうしたいのか(意図)	・安全で安心して学習ができ、指導できる教育環境を整えるとともに、社会教育及びスポーツの振興に資する施設、また災害時の避難所となる施設の整備	概要	事業の実施手法(手段)	・学校施設の改修
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・国府小学校大規模改修工事及び監理業務委託 ・本郷小学校大規模改修工事に係る設計監理業務委託 ・市内小学校トイレ洋式化改修 								
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		大規模改修学校数	校	目標値	1	1	1	2	2	
				実績値	1	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
		成果指標	学校耐震化数	校	目標値	19	19	19	19	19
				実績値	19	-	-	-	-	
	算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値	51	51	51	51	51	
				実績値	20	-	-	-	-	
	算出根拠等			達成率(%)	39	-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・工事内容を精査し必要最小限の工事内容にすることにより、コスト削減を図る。
-----------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・改修対象校舎の老朽化状況を把握し、非構造部材の耐震化及び長寿命化改修を行う。	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	施設の状況に応じた改修を順次実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 76,715	253,071	335,030	245,328
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 837	2,783	3,722	2,725
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	・本郷小学校校舎大規模改修 ・久々野小学校プール改修 ・新宮小学校校舎耐力度調査	要求のポイント	・改修計画に基づく校舎等の大規模改修の実施	事業実施の課題
------	--	---------	-----------------------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	335,030	245,328	△ 89,702	213,650	213,650	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	71,700	34,428	△ 37,272	34,428	34,428		
国庫支出金	4,000	3,500	△ 500	3,500	3,500		
県支出金	200,000		△ 200,000	150,000	150,000		
その他	59,330	207,400	148,070	25,722	25,722		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	93100	中学校管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約 多彩な教育環境が整ったまちづくり 高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
				款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業	小中学校管理事業	
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	項	3	中学校費	施策の概要	4	学びのセーフティネットの構築	H29実施計画額	133,500 千円	
			2347	目	1	学校管理費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する ・生徒の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備	概要	事業の実施手法(手段)	・中学校の運営及び学校施設の適切な維持・管理 ・内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施 ・学校設備、施設等の管理点検及び学校内外の防犯・防災点検を行う ・学校の各種施設や設備の破損箇所の修繕及び学校備品や教材の製作等を行う
	対象者数	2,728 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	活動指標	H27の実績		・学校施設の修繕、改修、備品等の購入 ・嘱託医による健康診断を実施 ・感染症、疾病予防に関する嘱託医からの指導助言を随時受けながら学校の衛生管理を実施 ・学校用務職員による学校施設等の修繕					
		指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
成果面	成果指標	学校数	校	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		配置医師等数(内科、歯科、薬剤師)	人	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		用務職員配置数	人	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	15	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		生徒数	人	目標値	2,835	2,728	2,730	2,730	2,730
		実績値	2,835	-	-	-	-		
算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-		
		目標値							
		実績値							
算出根拠等		達成率(%)							
		目標値							
		実績値							
算出根拠等		達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・引き続き学校維持管理の経費の削減に向けた取り組みを進める。 ・修繕等を専門業者に安易に依頼せず、学校用務職員自らが施工するなど、学校施設の維持管理費の削減が図れている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・省エネ、水道光熱費の削減に向けた取り組みを進める。 ・生徒が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、引き続き事業を進める。	
課の考えの担当	○維持・改善	・学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保できるように管理事業を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	104,852	119,810	162,247	175,545
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36,243	42,261	59,475	68,385
	受益者	生徒	(B)	2,893	2,835	2,728

5 予算編成(Action2)

事業内容	・中学校の運営及び学校の維持・管理 ・生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理 ・学校施設の維持修繕 ほか	要求のポイント	生徒の木製机・椅子購入、学校施設の修繕 学校用務職員の営繕作業によるコストの削減	事業実施の課題	老朽化した施設を計画的に修繕する必要がある。
------	---	---------	---	---------	------------------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	162,247	175,545	13,298	140,689	140,689	・積算内容を精査 ・施設整備は優先順位の高い箇所を実施	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	500	900	400	500	500		
その他	1,400	1,080	△320	1,400	1,400		
一般財源	160,347	173,565	13,218	138,789	138,789		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	93250	通学路照明灯整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業	通学路照明灯整備事業	
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	項	3	中学校費	施策の概要	4	学びのセーフティネット構築	H29実施計画額	8,300 千円	
			2347	目	2	教育振興費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中学校に通学する生徒	どうしたいのか(意図)	・中学生の下校時における安全確保のため、通学路照明灯の設置を行い、安全で安心な通学路を維持する。 ・中学生(小学生含む)の登下校時における安全確保のため、通学路の安全対策を実施し、安全で安心な通学路を維持する。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校・PTA・町内会等の要望により、設置が必要な箇所の把握及び調査を行い、必要性の高い箇所から順次設置すると同時に、不必要なものは撤去する。 ・通学路で無くなら、今後もしばらくの間通学路とならない照明灯は町内会等と協議の上、譲渡または廃止移設の必要がある。 ・高山市通学路推進会議を設置し関係機関で情報共有を図り、通学路の安全対策を検討・実施する。
	対象者数	2,728 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> 通学路照明灯6基を新設、161基を蛍光灯からLEDに改修した。 通学路照明灯29基を地域等へ無償譲渡し有効活用を図った。 学校等からの通学路に対する安全対策要望を、高山市通学路推進会議で情報共有し、安全対策を実施した。 								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		通学路照明灯の設置(移設を含む)数		基	目標値	10	5	5	5	5
		算出根拠等			実績値	6	-	-	-	-
					達成率(%)	60	-	-	-	-
		通学路照明灯のLED改修数		基	目標値	78	82	82	89	0
		算出根拠等			実績値	161	-	-	-	-
				達成率(%)	206	-	-	-	-	
	高山市通学路推進会議開催数		回	目標値	1	1	1	1	1	
	算出根拠等			実績値	1	-	-	-	-	
				達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値						
			達成率(%)							
			目標値							
			実績値							
			達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・既設の蛍光灯をLED改修し、電気料の縮減を図る必要がある。 ・通学路で無くなら、今後もしばらくの間通学路とならない照明灯は町内会等と協議の上、譲渡または廃止移設の必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・既設の蛍光灯をLED改修し、電気料の縮減を図る必要がある。 ・町内会等と協議の上、指定通学路外の通学路照明灯について譲渡または廃止移設を進める。	
次年度の考えの担当	○維持・改善	
	拡大	・既設の蛍光灯をLED改修し、電気料の縮減を図る必要がある。 ・通学路照明灯の未設置箇所の把握及び設置を進める。
	縮小	・町内会等と協議の上、指定通学路外の通学路照明灯について譲渡または廃止移設を進める。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,870	10,888	8,200	8,301
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,338	3,841	3,006	3,234
	受益者	生徒	(B)	2,893	2,835	2,728	2,567

5 予算編成(Action2)

事業内容	・通学路照明灯の設置、改修及び撤去 ・通学路照明灯の維持管理	要求のポイント	・新規通学路に対する通学路照明灯整備(既設照明灯の移設) ・既設通学路照明灯のLED改修	事業実施の課題	
------	-----------------------------------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,200	8,301	101	8,000	8,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	2,750	2,958	208	2,750	2,750		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,450	5,343	△107	5,250	5,250		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	93310	中学校大規模改修事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	多彩な教育環境が整ったまちづくり 高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
			内線	款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業	小中学校整備事業		
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	2348	項	3	中学校費	施策の概要	4	学びのセーフティネット構築	H29実施計画額	145,000 千円		
				目	3	学校整備費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒、教職員及び一般市民	どうしたいのか(意図)	・安全で安心して学習ができ、指導できる教育環境を整えるとともに、社会教育及びスポーツの振興に資する施設、また災害時の避難所となる施設の整備	概要	事業の実施手法(手段)	・学校施設の改修
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・松倉中学校大規模改修工事及び設計監理業務委託 ・清見中学校大規模改修工事に係る設計監理業務委託 ・市内中学校トイレ洋式化改修 								
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		大規模改修学校数	校	目標値	1	1	1	0	0	
				実績値	1	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値		-	-	-	-	
		成果指標	学校耐震化数	校	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	-	-	-	-	
	算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値	32	32	32	32	32	
				実績値	21	-	-	-	-	
	算出根拠等			達成率(%)	66	-	-	-	-	
		目標値								
		実績値		-	-	-	-			
		達成率(%)		-	-	-	-			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・工事内容を精査し、必要最小限の工事内容にすることにより、コスト縮減を図る。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・改修対象校舎の老朽化状況を把握し、非構造部材の耐震化及び長寿命化改修を行う。	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	施設の状況に応じた改修を順次実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	199,562	442,392	362,030	92,347
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,179	4,865	4,021	1,026
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	清見中学校校舎大規模改修 丹生川中学校校舎耐力度調査	要求のポイント	・改修計画に基づく校舎等の大規模改修の実施	事業実施の課題
------	-------------------------------	---------	-----------------------	---------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
歳出(千円)	362,030	92,347	△ 269,683	96,350	96,350	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり	
財源内訳	国庫支出金	52,480	24,136	△ 28,344	24,136			24,136
	県支出金	5,000	3,000	△ 2,000	3,000			3,000
	その他	290,000		△ 290,000	50,000			50,000
	一般財源	14,550	65,211	50,661	19,214			19,214

平成29年度 事業別予算概要

事業名	95300	学校給食運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	多彩な教育環境が整ったまちづくり 高山市の次世代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
				款	9	教育費		個別分野	1		学校教育		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	2973	項	5	保健体育費	施策の概要	2	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	H29実施計画額	185,100 千円	
					目	3	学校給食センター費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 児童、生徒等	どうしたいのか(意図)	・安全で魅力ある学校給食を実施し、児童生徒の心身の健全な発達を図る。 ・学校給食を活用した食に関する指導の実施により、食育の推進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・地元食材を積極的に購入使用することにより、給食の安全安心を確保し、バラエティーに富んだ献立等を給食に取り入れる。 ・衛生管理の徹底や施設の補修、点検等を実施し、運営を支援なく行う。 ・郷土料理や地元産品を使用した食育指導を行う。
	対象者数	7,796 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> 嗜好の変化、食物アレルギー対応などニーズの多様化のなかで献立を工夫し、児童生徒に安全で栄養バランスのとれた給食を年間1,430,941食を供給することができた。 栄養教諭等による食育授業や学校訪問、試食会での講話を実施した。 地元食材を活用するなど地産地消に努めた。 							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		給食供給数(年間)	食/年	目標値	1,480,000	1,442,000	1,442,000	1,442,000	1,442,000
				実績値	1,430,941	-	-	-	-
		算出根拠等	供給した学校給食数	達成率(%)	97	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
		朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	94	-	-	-	
	算出根拠等	食生活アンケート	達成率(%)	94	-	-	-	-	
				目標値	640	640	640	640	
		給食の栄養価 小学生	kcal	実績値	650	-	-	-	
	算出根拠等	カロリー平均値、基準値	達成率(%)	102	-	-	-	-	
				目標値	820	820	820	820	
		給食の栄養価 中学生	kcal	実績値	827	-	-	-	
	算出根拠等	カロリー平均値、基準値	達成率(%)	101	-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	引き続き、安全で衛生的かつおいしい給食を、効率よく安定的に供給するために、第八次総合計画に基づき施設を整備していく。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	引き続き、地元産食材を使用して安全で安心な給食提供を行うとともに食育の推進に取り組み、今後の施設整備について検討していく。	
課の考案担当 ○ 次年度の担当	維持・改善	給食の供給、食育推進の課題に取り組み、これらが安定的に実施できるよう第八次総合計画に基づき施設整備を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	170,440	178,138	189,424	226,700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	21,000	22,404	24,298	29,849
	受益者	児童・生徒等	(B)	8,116	7,951	7,796

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食5センターの運営 調理施設等の衛生管理および維持管理 栄養教諭等による指導や郷土食や地元食材を使用することによる食育の推進 夏休み親子料理教室等や食育だよりの発行など食に関する事業の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食5センター(高山、清見、一之宮、久々野、本郷)の適正な運営 施設、機能を確保するための修繕・整備 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き安全で衛生的かつおいしい給食を、安定的に提供する。 アレルギー対応は安全を優先し実施する。
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	189,424	226,700	37,276	187,549	187,549	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	8,200	8,512	312	8,400	8,400		
一般財源	181,224	218,188	36,964	179,149	179,149		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	95310	学校給食機器等整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	3	教育・文化	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	多彩な教育環境が整ったまちづくり 高山市の次世代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
			款	9	教育費	個別分野	1	学校教育	実施計画事業	学校給食機器等整備事業			
			項	5	保健体育費	施策の概要	2	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	H29実施計画額	12,000 千円			
担当課		教育委員会事務局 教育総務課	内線	2973	目	3	学校給食センター費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童、生徒等	どうしたいのか(意図)	・学校給食を安全確実に供給するため、定期的な機械器具等の更新を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・給食提供用食器器具類の更新を実施する。 ・調理用機械器具の更新を実施する。 ・配送車両の更新を実施する。
	対象者数	7,796 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・配送車両1台更新(清見地域配送車) ・調理用機械器具の更新 ・学校への給食提供用の食器等を更新 								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		更新車両		台	目標値	1	1	0	0	1
		算出根拠等		更新台数	実績値	1	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
		給食供給数(年間)		食	目標値	1,480,000	1,442,000	1,442,000	1,442,000	1,442,000
		算出根拠等		供給した学校給食数	実績値	1,430,941	-	-	-	-
	成果指標				達成率(%)	97	-	-	-	-
					目標値					
					実績値		-	-	-	-
					達成率(%)		-	-	-	-
		突然給食停止がない日		日	目標値	197	198	198	198	198
		算出根拠等		調理施設稼働日数・給食供給した日	実績値	196	-	-	-	-
			達成率(%)	99	-	-	-	-		
			目標値							
			実績値		-	-	-	-		
			達成率(%)		-	-	-	-		
			目標値							
			実績値		-	-	-	-		
			達成率(%)		-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	安全で安心な学校給食の提供を継続実施するために計画的な更新を実施する。
-----------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	優先度を定め計画的な更新を実施する。	
次年度の考え方の担当	○維持・改善	定期的に給食提供するため、現有機器について計画的な更新を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	13,039	11,837	12,000	13,370
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,607	1,489	1,539	1,760
	受益者	児童・生徒等	(B)	8,116	7,951	7,796

5 予算編成(Action2)

事業内容	給食供給用器具及び調理用機械器具の更新	要求のポイント	・整備計画に基づく調理器具等の更新	事業実施の課題	・経年使用による機械器具の劣化のため、計画的な更新が必要である
------	---------------------	---------	-------------------	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		12,000	13,370	1,370	12,000	12,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	5,000		△5,000				
	一般財源	7,000	13,370	6,370	12,000	12,000		